



2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月7日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東
 コード番号 4343 URL <https://www.fantasy.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 徳也
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括兼経理本部 長兼リスクマネジメント担当 (氏名) 井関 義徳 (TEL) 043 (212) 6203
 四半期報告書提出予定日 2021年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	13,320	262.3	△1,760	—	△1,738	—	△2,090	—
2021年2月期第1四半期	3,676	△79.6	△4,135	—	△4,279	—	△5,620	—

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 △2,047百万円(—%) 2021年2月期第1四半期 △5,827百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	△105.80	—
2021年2月期第1四半期	△284.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	54,926	14,579	26.2
2021年2月期	53,961	16,922	30.9

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 14,379百万円 2021年2月期 16,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	70,000	51.8	1,400	—	630	—	△650	△32.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2022年2月期1Q	19,766,725株	2021年2月期	19,762,025株
2022年2月期1Q	1,685株	2021年2月期	1,583株
2022年2月期1Q	19,760,676株	2021年2月期1Q	19,755,733株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、『子どもと家族のえがおのために、世界中に楽しい「あそび×まなび」を届けるオンラインのエデュテイメント企業』をビジョンに掲げ、4つの主要施策「あそび場の進化と拡大」、「ポートフォリオマネジメントへのシフト」、「フルデジタル化」、「成長を支える人材・組織・風土改革」を推進しております。

当第1四半期連結累計期間(2021年3月1日～2021年5月31日)における当社及び連結子会社の連結業績は、売上高が133億20百万円(前年同期比262.3%増)となりました。営業損失は17億60百万円(前年同期営業損失41億35百万円)、経常損失は17億38百万円(前年同期経常損失42億79百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は20億90百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失56億20百万円)となりました。

新型コロナウイルス感染症に対する影響については、中国事業がいち早く収束に向かいつつあり、売上は前期第3四半期連結会計期間より回復に転じ、当第1四半期連結累計期間においても順調に推移しております。国内事業は政府による緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用に基づき対象地域店舗の臨時休業や営業時間短縮を実施したことにより売上が減少いたしました。

当第1四半期連結累計期間は9店舗の新規出店をする一方で15店舗を閉店いたしました。これらの結果、2021年5月末の店舗数は国内431店舗、海外422店舗の合計853店舗(直営店843店舗、FC等10店舗)となりました。

(国内事業)

国内事業は、新型コロナウイルス感染症に対する防疫対策の徹底を継続しながら、プライズ部門を中心とした売上対策を進めてまいりました。一方、政府による緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置が適用されると各自治体の措置に基づき、対象地域の店舗は臨時休業や営業時間短縮を実施してまいりました。対象地域以外の店舗では売上の回復が進んでおります。オンラインクレール事業についてはこうした影響を受けず、人気Vチューバーとのコラボなどエクスクルーシブな景品の集中展開や「おうち時間」の利用促進に向けたキャンペーンに取組み、第1四半期連結累計期間の前年同期比は92.3%増と大幅なプラスとなっております。また営業面積の拡大に向けショッピングセンター内へのカプセルトイ専門店「TOYS SPOT PALO」の展開を推進し、当第1四半期連結累計期間で9か所に展開、5月末現在で累計61か所となりました。フルデジタル化に向けた取組みとして、モーリーフレンズについては新規会員獲得キャンペーンを実施しながらデジタル会員化への移行を推進しております。

当第1四半期連結累計期間は草加マルイ店をはじめとするグループ外物件4店舗の新規出店をする一方で、不採算店舗等4店舗を閉店し、2021年5月末の店舗数はFC2店舗を含め431店舗となりました。丸井グループには当社初出店となります。

以上の結果、国内事業における当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高112億42百万円(前年同期比246.2%増)、営業損失10億41百万円(前年同期営業損失33億46百万円)となりました。

(中国事業)

中国事業は、新型コロナウイルス感染者数の減少により来店客数が回復し、第1四半期の既存店売上は一昨年比114.3%と大幅なプラスとなりました。前期より取り組んでいるトークンセット販売による客単価アップに加え、大手ECサイトでの販売強化やショッピングセンター内でのパレード、パブリック広場でのイベント実施による集客にも力を入れました。一時使用区画の確保にも取組み、5月末現在68か所に展開し収益拡大に貢献しております。

当第1四半期連結累計期間の新規出店は寧波阪急店にフィンランドをモチーフにした大型のテーマ型プレイグラウンドであるファンペッカをオープンいたしました。1店舗の新規出店をする一方で、不採算店舗等6店舗を閉店し、2021年5月末の店舗数はFC5店舗を含め200店舗となりました。

以上の結果、中国事業における当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高16億40百万円（前年同期比400.4%増）、営業損失5億16百万円（前年同期営業損失3億77百万円）となりました。

（アセアン事業）

アセアン事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う政府の規制により、タイが4月に全店舗、マレーシア、ベトナムが5月に入りほぼ全店に近い店舗を臨時休業いたしました。なお、フィリピンについては政府の規制により昨年から全店舗を休業しております。一方でインドネシアは政府規制が緩和され、29店舗のうち21店舗が営業しており売上の回復が進みました。

当第1四半期連結累計期間に4店舗の新規出店をする一方で、不採算店舗等5店舗を閉店し、2021年5月末の店舗数はFC3店舗を含め222店舗となりました。

以上の結果、アセアン事業における当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4億84百万円（前年同期比247.5%増）、営業損失2億21百万円（前年同期営業損失4億10百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、112億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億29百万円減少いたしました。主な内訳は、前連結会計年度末日が金融機関の休日であり、売上預け金のうち2月上旬分が翌営業日に決済されたことによる売上預け金の減少（9億46百万円）、たな卸資産の増加（1億34百万円）であります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、436億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億94百万円増加いたしました。主な内訳は、新店及び店舗活性化に伴う遊戯機械の増加（8億48百万円）及び有形固定資産その他（工具、器具及び備品）の増加（1億86百万円）、投資その他の資産その他（繰延税金資産）の増加（2億61百万円）であります。

この結果、総資産は549億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億64百万円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、326億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億40百万円増加いたしました。主な内訳は、短期借入金の増加（30億27百万円）、遊戯機械の改廃に伴う設備関係支払手形の増加（14億32百万円）、流動負債その他（未払消費税）の減少（9億42百万円）であります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、76億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円増加いたしました。主な内訳は、在外連結子会社における固定負債その他（長期前受収益）の増加（2億1百万円）、リース債務の増加（1億3百万円）及び長期借入金の減少（2億28百万円）であります。

この結果、負債合計は403億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億8百万円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、145億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億43百万円減少いたしました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上（20億90百万円）、剰余金の配当による減少（2億96百万円）であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月9日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,718,115	5,485,018
売掛金	210,477	176,770
売上預け金	1,701,815	755,748
たな卸資産	2,367,359	2,501,504
その他	2,021,092	2,370,474
流動資産合計	12,018,859	11,289,516
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,762,977	5,848,422
遊戯機械(純額)	20,486,877	21,335,014
使用権資産(純額)	4,056,606	4,207,959
その他(純額)	2,233,366	2,418,267
有形固定資産合計	32,539,827	33,809,664
無形固定資産		
のれん	173,550	163,734
ソフトウェア	1,009,082	1,120,294
その他	4,440	4,661
無形固定資産合計	1,187,074	1,288,690
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	4,346,027	4,398,743
その他	3,870,132	4,139,971
投資その他の資産合計	8,216,160	8,538,715
固定資産合計	41,943,061	43,637,069
資産合計	53,961,921	54,926,586

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,159,820	935,570
短期借入金	17,620,876	20,647,905
1年内返済予定の長期借入金	2,237,784	2,168,155
リース債務	1,813,712	1,800,219
未払費用	1,742,336	1,782,287
未払法人税等	575,423	322,151
賞与引当金	295,265	429,553
役員業績報酬引当金	12,090	2,730
閉店損失引当金	36,973	40,818
設備関係支払手形	1,151,567	2,584,270
その他	2,796,428	1,969,274
流動負債合計	29,442,278	32,682,938
固定負債		
長期借入金	3,477,260	3,248,393
リース債務	2,779,745	2,882,824
退職給付に係る負債	247,982	243,786
資産除去債務	920,846	935,015
その他	171,098	354,626
固定負債合計	7,596,935	7,664,646
負債合計	37,039,213	40,347,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,798,427	1,802,109
資本剰余金	4,817,070	4,820,752
利益剰余金	10,577,713	8,190,685
自己株式	△3,370	△3,577
株主資本合計	17,189,839	14,809,971
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△403,671	△344,205
退職給付に係る調整累計額	△91,267	△86,395
その他の包括利益累計額合計	△494,938	△430,601
新株予約権	48,551	41,191
非支配株主持分	179,254	158,439
純資産合計	16,922,707	14,579,001
負債純資産合計	53,961,921	54,926,586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
売上高	3,676,603	13,320,412
売上原価	6,627,040	13,783,549
売上総損失(△)	△2,950,437	△463,137
販売費及び一般管理費	1,185,405	1,297,332
営業損失(△)	△4,135,842	△1,760,470
営業外収益		
受取利息	14,532	17,039
為替差益	—	139,638
受取保険金	8,402	4,503
固定資産売却益	54	100
預り金受入益	—	5,944
リース解約益	71,800	19,860
その他	18,003	23,597
営業外収益合計	112,793	210,686
営業外費用		
支払利息	209,730	166,840
為替差損	19,152	—
固定資産売却損	20,792	12,706
その他	6,889	9,602
営業外費用合計	256,565	189,148
経常損失(△)	△4,279,614	△1,738,932
特別利益		
店舗家賃免除益	956,042	—
雇用調整助成金	—	6,350
特別利益合計	956,042	6,350
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	13,659	13,932
減損損失	194,334	35,511
店舗閉鎖損失	4,782	557
店舗休止損失	3,645,023	544,063
感染症対策費	96,647	—
特別損失合計	3,954,446	594,065
税金等調整前四半期純損失(△)	△7,278,018	△2,326,647
法人税、住民税及び事業税	58,349	53,962
法人税等調整額	△1,622,534	△262,094
法人税等合計	△1,564,185	△208,131
四半期純損失(△)	△5,713,833	△2,118,515
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△93,585	△27,894
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,620,248	△2,090,620

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
四半期純損失(△)	△5,713,833	△2,118,515
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△120,183	66,545
退職給付に係る調整額	6,957	4,871
その他の包括利益合計	△113,225	71,417
四半期包括利益	△5,827,059	△2,047,098
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,719,121	△2,026,283
非支配株主に係る四半期包括利益	△107,938	△20,815

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(追加情報)

(重要な会計上の見積り：有形固定資産の減損テスト)

当社グループは、当四半期連結会計期間末日現在、有形固定資産33,809,664千円を計上しており、資産グループより生じることが予想される将来キャッシュ・フロー及び現在価値の算定をするために割引率を見積り、有形固定資産の減損テストを実施しております。当四半期連結会計期間において、減損損失35,511千円を計上しております。

当社グループは、有形固定資産の減損テストにおける予想される将来キャッシュ・フローの見積りに、各地域の新型コロナウイルス感染症の影響として、行政当局の要請による臨時休業期間の予測及び営業再開後の売上高回復予測などの仮定を含めており、複数のシナリオに基づく感応度分析を実施しています。具体的には、店舗の売上高について各地域の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、アセアン等の臨時休業中の店舗については、2022年2月期上期から順次営業を再開し、売上高が当連結会計年度から2023年2月期連結会計年度までに回復するとの仮定に基づき、有形固定資産の減損テストにおける将来キャッシュ・フローの見積りを行っております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,209,388	327,902	139,311	3,676,603	—	3,676,603
セグメント間の内部売上高又は振替高	38,112	—	—	38,112	△38,112	—
計	3,247,500	327,902	139,311	3,714,715	△38,112	3,676,603
セグメント損失(△)	△3,346,518	△377,822	△410,823	△4,135,164	△677	△4,135,842

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間に、「国内」セグメント691千円、「中国」セグメント29,872千円、「アセアン」セグメント163,770千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,195,389	1,640,867	484,154	13,320,412	—	13,320,412
セグメント間の内部売上高 又は振替高	46,815	—	—	46,815	△46,815	—
計	11,242,205	1,640,867	484,154	13,367,227	△46,815	13,320,412
セグメント損失(△)	△1,041,942	△516,985	△221,050	△1,779,978	19,508	△1,760,470

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間に、「国内」セグメント1,549千円、「中国」セグメント12,803千円、「アセアン」セグメント21,158千円の減損損失を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。